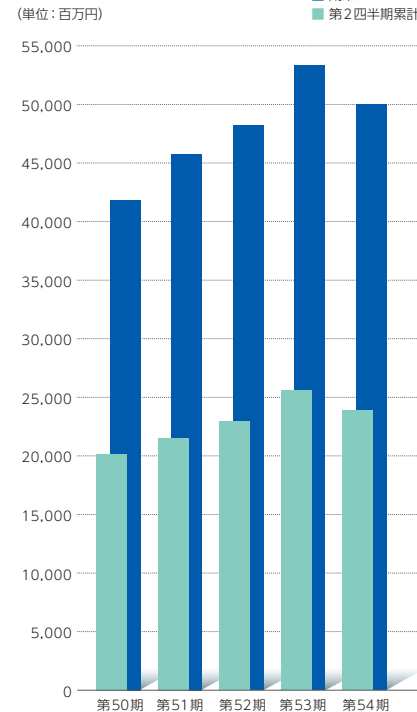


業績ハイライト(連結)

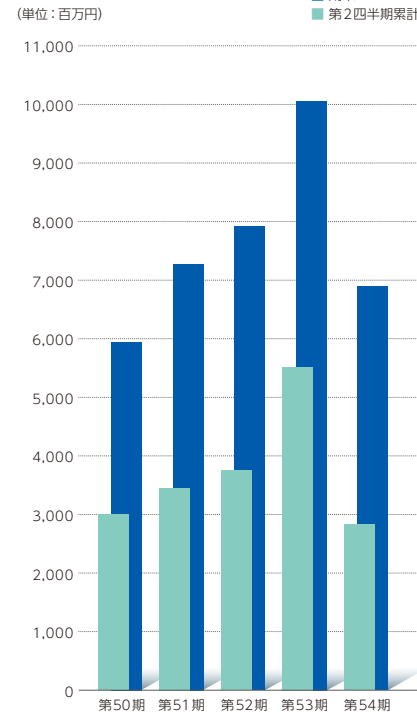
区分	期別	第50期 (2019年3月期)	第51期 (2020年3月期)	第52期 (2021年3月期)	第53期 (2022年3月期)	第54期 (2023年3月期)
売上高(百万円)		41,856	45,754	48,183	53,346	50,003
経常利益(百万円)		5,942	7,273	7,918	10,060	6,888
親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)		3,735	4,637	5,102	6,353	4,337
1株当たり当期純利益(円)		336.11	417.33	459.17	571.76	390.34
総資産(百万円)		55,247	58,321	59,234	64,494	61,118
純資産(百万円)		27,280	30,692	34,480	38,632	41,307

*各財務諸表は2023年5月15日開示の過年度の訂正を反映しております。

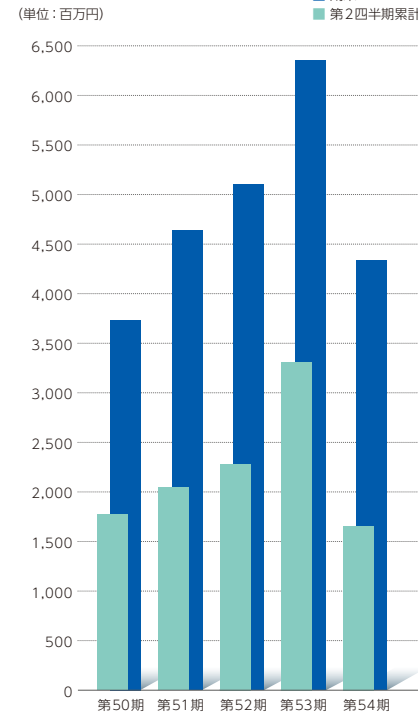
売上高の推移



経常利益の推移



親会社株主に帰属する 当期純利益の推移



*2023年5月15日開示の過年度の訂正を反映しております。

免責条項 本報告書で記述されている通期の業績見通しなど将来についての事項は、予期しない経済状況の変化などさまざまな要因の影響を受けるため、その結果については当社が保証するものではありません。

当期の業績について

当連結会計年度の連結売上高は50,003百万円と、前年同期比で6.3%の減少となりました。利益額につきましても、営業利益は6,584百万円(前年同期比32.8%減)、経常利益は6,888百万円(前年同期比31.5%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は4,337百万円(前年同期比31.7%減)とそれぞれ減少となっております。前年同期に東京オリンピックに伴うイベント施設及び新型コロナウイルス感染症対策のための医療関連施設等の大型物件の計上があったため、前期と比較して売上高、利益額ともに低くなっておりませんが、通期の業績見通しにつきましては概ね予想通りに進捗いたしました。

モバイルスペースのレンタルについては、前期の大型物件計上の影響により、売上高は前年同期比4.3%減となっております。一方で、前年の大型物件の影響があった影響で出荷棟数は減少したものの、稼働棟数については増加し、堅調に推移いたしました。

モバイルスペースの販売及び工事売上については、引き続き店舗網の整備に注力しており、新規店舗の開設に加えて既存店舗のリニューアルを進め、体制の強化を図っております。現在全国に展開している展示場の新ブランド「MOPAQ(モパック)」により、来場者数の増加だけでなく顧客層も広がりを見せており、新たな需要の開拓につながっております。また、ホームページの問い合わせ数も前年を上回って推移しております。売上高は、レンタルと同様に前期の大型物件計上の影響により、前年同期比8.6%減となっているものの、こちらも概ね予想通りに進捗

いたしました。

不動産賃貸事業についても着実に事業を拡大しております。レンタルスペースについては順調に店舗数が増加し、当連結会計年度末においては45店舗となっております。トランクルームについてもルーム稼働率は一定水準を維持しており、売上高は前年同期に比べ4.2%増となっております。

設備投資については、レンタル資産や展示場等の店舗設備を中心に継続的に実施しており、投資額は8,371百万円となっております。その影響により、建物及び構築物は前期末に比べ1,313百万円増加しておりますが、総資産額は前連結会計年度末に比べ3,376百万円減少し、61,118百万円となりました。変動の大きかった主なものは、現金及び預金の減少3,200百万円、営業未収入金の減少1,554百万円、建設仮勘定の減少937百万円などです。

負債の合計額は、前連結会計年度末に比べ6,050百万円減少し、19,810百万円となっております。変動の大きかった主なものは、仕入債務の減少788百万円、その他の流動負債の減少516百万円、短期及び長期借入金の純減1,914百万円、未払法人税等の減少1,543百万円などです。

純資産額は前連結会計年度末に比べ2,674百万円増加して41,307百万円となっており、自己資本比率は67.6%と安定した状態を保っております。



港湾施設内観



事務所外観



お土産店外観